

【環境活動レポート】

2016年度（2016年1月～2016年12月）
2017年6月13日作成（2017年11月29日訂正）

1. 環境方針
2. 組織の概要（対象範囲）
3. 実施体制
4. 環境目標とその実績
5. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価
6. 今後3年間の目標及び次年度の取組内容
7. 代表者による評価と見直し
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び
評価の結果並びに違反、訴訟等の有無



1. 環境方針

《 基本理念 》

当社は印刷事業を通じ、企画から顧客の手元に渡るまでのあらゆる段階において、環境に与える負荷の軽減に努めます。地球環境の保全のために、以下の方針を定め、環境を重視した企業活動を行います。

《 行動指針 》

1. エコアクション 21 に基づく環境マネジメントシステムを構築運用し、積極的に環境への負荷の軽減を目指します。
2. 環境に関わる法令、条例、規制、協定を遵守し、顧客の要求事項を明確にし、環境保全活動の継続的な向上をはかります。
3. 環境方針に基づいた環境マネジメントシステムを確立し、環境目標、行動計画を設定し、必要に応じて見直しを行います。
4. 環境負荷を軽減するために次の活動を積極的に進めます。
 - ① 二酸化炭素総排出量の削減に努めます
 - ② 廃棄物の分別によるリサイクル化の推進及び廃棄物の削減を図ります
 - ③ 水資源の節約に努めます
 - ④ 化学物質使用量の削減に努めます
 - ⑤ グリーン購入の推進に努めます
 - ⑥ 環境に配慮した自社製品の生産・提案
5. この環境方針は全ての役員従業員に周知徹底し、社員教育を実施すると共に啓蒙活動を推進して、環境保全型企業を目指します。

作成日 2009 年 3 月 2 日
改訂日 2016 年 3 月 1 日
株式会社 三進社
代表取締役 沼澤 誠

2. 組織の概要 (対象範囲)

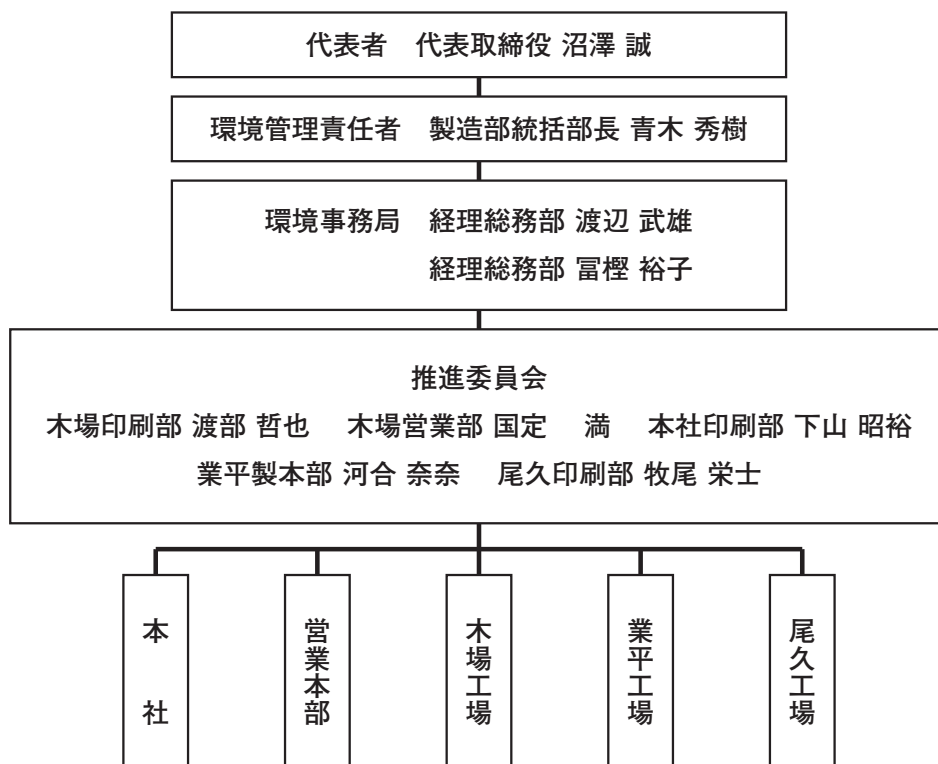
事業社名 株式会社 三進社
代表者 代表取締役 沼澤 誠
事業内容 総合印刷

本社 東京都品川区西五反田4丁目28番13号
営業本部 東京都江東区木場5丁目11番13号 木場公園ビル6F
木場工場 東京都江東区木場6丁目6番3号
尾久工場 東京都荒川区西尾久8丁目32番4号
業平工場 東京都墨田区業平1丁目1番9号

環境管理責任者 青木 秀樹
環境事務局 渡邊 武雄 / 富樫 裕子
連絡先 TEL : 03-6895-0850 / FAX : 03-6895-0851

年間売上高 1,655百万円 (2016年度)
従業員数 96人 (2017年5月現在)
床面積 2,785.59㎡ (2017年5月現在)

3. 実施体制（環境システム組織図）



代表者（社長）	<p>環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認</p>
環境管理責任者	<p>環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認</p>
環境事務局	<p>環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 環境目標・環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</p>
推進委員会	<p>各事業所における環境経営システムの実施 各事業所における環境方針の周知 各事業所の従業員に対する教育訓練の実施 各事業所に関連する環境活動計画の見直し及び達成状況の報告 各事業所の特定された項目の手順書作成及び運用管理 各事業所の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 各事業所の問題点の発見、是正、予防処置</p>
全従業員	<p>環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</p>

4. 環境目標とその実績 (2016年度)

《 全事業所合計 》

	基準年度 (2014年)	2015年実績	2016年目標	2016年実績	前年比 (%)
電力の削減 (kWh)	1,030,044	1,067,899	1,009,443	1,034,249	96.8
自動車燃料の削減 (L)	49,123	51,331	48,141	45,999	89.6
二酸化炭素総排出量 (kg-CO2) *	660,919	686,142	647,701	655,904	95.6
廃棄物の削減 (kg)	470,107	477,526	460,705	489,598	102.5
水道水の削減 (L)	832	837	815	829	99.0
有機溶剤の使用料 (L)	2,851	2,742	実績値報告	2,832	103.3
グリーン購入 (件)	194	182	実績値報告	202	111.0
FSC登録商標使用案件 (件)	45	28	実績値報告	20	71.4

* CO2排出係数 電力:0.531-CO2/kWh 自動車燃料:2.32kg-CO2/L

《 事業所別 》

	本社	木場工場	業平工場	尾久工場	営業本部	川崎営業所
電力の削減 (kWh)	48,481	324,633	390,749	233,399	29,058	7,929
自動車燃料の削減 (L)	72	1,351	1,598	3,698	29,545	9,735
二酸化炭素総排出量 (kg-CO2) **	25,910	175,514	211,195	132,514	83,974	26,795
廃棄物の削減 (kg)	31,571	190,622	159,659	107,746	計測不可	計測不可
水道水の削減 (L)	161	244	129	195	計測不可	100
有機溶剤の使用料 (L)	652	1,107	315	760	—	—
グリーン購入 (件)	—	—	—	—	202	—
FSC登録商標使用案件 (件)	—	—	—	—	20	—

** CO2排出係数 電力:0.531-CO2/kWh 自動車燃料:2.32kg-CO2/L

5. 主要な環境活動計画の内容と取組結果の評価

《 主要な環境活動計画の内容 》

【電 力】

デマンドコントロールの活用、不要照明の消灯、ステッカーの掲示

【自動車燃料】

アイドリングストップ、急加速・急発進の防止、入替時の車種の選定、燃費のチェック

【廃 棄 物】

分別による古紙のリサイクル化、マイカップ運動の推進、モノクロ及び両面コピー・プリントの推進

【水 道 水】

節水の呼び掛け、ステッカーの掲示

【有 機 溶 剤】

使用量の把握と取り扱いの注意（含有量のみの計測を開始）、SDSの管理

代替品（非該当）の薬品の検討、実施（目標数値は設置せず、数量の報告とする）

【グリーン購入】

文房具等の購入の際は、グリーン商品の物を選択する（目標数値は設置せず、数量の報告とする）

【F S C 案 件】

製品・サービスにおける環境項目としてアピールし、顧客の信頼を得る

（目標案件数は設置せず、量の報告とする）

《 取組結果の評価 》

【電 力】

目標は未達成であるが前年比は大きく下回った。木場工場と業平工場の設備の入れ替えを行ったが特に業平工場の削減値が大きい。入れ替えでの作業効率化と労働時間の短縮による照明時間の削減が推測できる。

【自動車燃料】

営業車の4台をハイブリット車に入れ替えたためと判断できる。

【廃 棄 物】

設備の入れ替えにより製造過程で紙、フィルムからアルミの使用へと変わったことが一番の要因と推測できる。

【水 道 水】

水道水に関しては無駄な使用は以前からなく、これ以上の削減は考えにくい。次年度の様子を考慮して目標の設定を検討する。

【有 機 溶 剤】

製造に使用する設備によるものであり、代替品を試してはいるが品質、効率にも影響するため急な変更は困難である。

【グリーン購入】

文房具、事務用品がほとんどだが発注の際に気にかけている模様である。

【F S C 案 件】

提案できる機会が少なく、顧客の要求による影響が大きい。

6. 今後3年間の目標及び次年度の取組内容

《 今後3年間の目標は以下の通り計画します 》

	基準年度 (2014年)	2017年目標 (基準年度比97%)	2018年目標 (基準年度比96%)	2019年目標 (基準年度比95%)
電力の削減 (kWh)	1,030,044	999,143	988,842	978,542
自動車燃料の削減 (L)	49,123	47,649	47,158	46,667
二酸化炭素総排出量 (kg-CO2) ***	660,919	641,091	634,482	627,873
廃棄物の削減 (kg)	470,107	456,004	451,303	446,602
水道水の削減 (L)	832	807	799	790
有機溶剤の使用料 (L)	2,851	実績値報告	実績値報告	実績値報告
グリーン購入 (件)	194	実績値報告	実績値報告	実績値報告
FSC登録商標使用案件 (件)	45	実績値報告	実績値報告	実績値報告

*** CO2出力係数 電力:0.531-CO2/kWh 自動車燃料:2.32kg-CO2/L

《 次年度の取組内容 》

【電 力】

不要照明、退社前の空調及びエアコンの消灯、ステッカーの掲示

【自動車燃料】

アイドリングストップ、急加速・急発進の防止、低燃費車への変更

【廃 棄 物】

分別による古紙のリサイクル化、マイカップ運動の推進、モノクロ及び
両面コピー・プリントの推進

【水 道 水】

節水の呼び掛け、ステッカーの掲示

【有 機 溶 剤】

使用量の把握と取り扱いの注意、SDSの管理（※第一種指定化学物質の使用量の把握）

【グリーン購入】

文房具等の購入の際は、グリーン購入の物を選択する

【F S C 案 件】

顧客の要望による項目であるが積極的にPRする

7. 代表者による全体の評価と見直しの記録

【取組状況の評価】

印刷・製本の機械を2台入れ替えたことで作業効率が大幅に向上したことに加え、作業効率を上げる施策も功を奏し、特に製本部員の就業時間が一人当たり年間86.2時間位減り、電力使用量削減に繋がったと評価が出来る。

営業車をハイブリッド車への乗り換えで、自動車燃料の削減に大きく効果が出た。

【見直し及び総括】

今回は電力使用量の削減に焦点を当て、各部門長は作業効率アップ以外にも効果が出るよう無駄な電気の使用を監視すること。また、引き続き製造部は作業効率を考える、営業部は長時間残業の改善を行うこと。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無

法令等の遵守状況を環境関連法規一覧表に基づき、2016年5月に遵守評価した結果、違反状況はありませんでした。また訴訟、苦情及び関係当局よりの違反の指摘は、過去3年間ありません。

(以上)